



平成26年

12月の園だより



みみよう保育園

生活発表会（幼児組参加）

- 日時 12月 6日(土)
9:00~14:30
- 場所 第二みみよう保育園5階ホール
- 内容 ◆第一部 9:00~
3歳児
◆第二部 10:30~
4歳児
◆第三部 13:00~
5歳児



子どもたちが毎日、劇や、合奏、表現などを楽しく取り組んできました。
当日は、様々な姿が見られることと思います。



12月25日(木)



昔は、どこの家でも年末に餅をつく杵の音がひびきわたっていました。今では、臼、杵、釜、蒸籠といった道具も家庭で少なくなっており、機械でついたり、店で買ってきたりしているようです。

もちは「望」に通じ、物事が満ち足りたことをあらわします。正月に餅を供えて家族みんなが満足に、希望がかなえられるようにと願うのが習わしでした。

当園では、25日にきりん組さんが、4、5歳児のおじいちゃん、おばあちゃんにいろいろ教えていただきながら、一緒にお餅を丸めたり、つくところを見たりして、楽しく過ごします。



消さないで
あなたの心の
注意の火

広島市南消防署
警防課救助係

イヤイヤ期と向き合うことを楽しんで

子どもたちも楽しみにしていた公園のイルミネーションが夕方になると点灯し、12月に入ったのだなと実感しています。チカチカし始めると、こあら組の赤ちゃんもじっと眺めたり、「あ、あ、」と指をさしてお話してくれます。

きりん組さんたちも、昼間は公園で木の上のイルミネーションに飾られているアンパンマンやじばにゃんを見て「アンパンマン、いまはひかかってないねー」とお友だちと会話を楽しんでいるほどです。毎年楽しませてくださる町内会の皆さんには感謝しています。

さて、子どもたちは月が進むにつれ、どんどん“自分”を発揮しています。

特に1歳児クラスのこじか組さんたちは「イヤダイヤダ」で、何かとスムーズにいかない事が増えてきました。

「そろそろおかたづけしようかな」、「イヤイヤ」、「おしっこいこうね」、「イヤイヤ」、「ごはんたべようよ」、「イヤイヤ」…。その都度、担任は「そうか、まだ〇〇したいのね」と子どもの気持ちを言葉にして返しています。

先日も、こじか組が園庭でのあそびを終え、お部屋に入ることを促していると、ままごとのお家の中で「イヤ!かえらん」とだだをこねている子どもがいます。そんな時どう対応するのか見ていたら、担任は、「そうね、まだあそびたいのね」、「じゃあおくつをはきかえているおともだちのところへいっとくね」と言って、その子が見える位置まで移動して、さりげなく待っていました。すると、その子はしばらく遊んでいましたが、やがてあそびを終え、担任のところまで戻っていきました。

身体がだいぶ自分の思う通りに動かせるようになると、少し視野が広がり、ま

わりに興味関心が高まり、自分で何でもやってみたくになります。自分の思うままに行動したいので、大人がやって欲しいことは時に「イヤイヤ」と抵抗します。でもこのイヤイヤ期は子どもの成長発達には欠かせない通過点です。自分の力を試し、同時にどこまで許してくれるかお母さんの心も試しているのです。それは、お母さんとの信頼関係、愛着形成ができているからこそ、安心して思いっきり自分を表現するのです。

朝、忙しくしているときなどは特にイヤイヤが始まるとイライラしてしまいますね。

「どうしてそうなるの!」という思いが子どもに伝わり、余計にお互いが引くに引けなくなったり…。そんな時は深呼吸を一つして、お母さんの気持ちもパッと切り換えるようにしてみましょう。そして「そう、〇〇したいのね」と子どもの気持ちを声に出し、受け止めてあげると、お子さんも気持ちが切り替わることがあります。また、イヤイヤ期の朝は当分余裕をもって起きるように心がけてみてください。少し見守り、待つてあげることがコツです。

いよいよ行き詰ってしまったら、周りの人に助けを求めることも大切ですね。お父さんをはじめ、近くにいらっしゃれば、おじいちゃん、おばあちゃん、日頃から頼みごとができるように近所の人とも仲良くなっていることも必要かもしれません。そして、しんどい時はいつでも園にお声がけいただけたらと思います。

「いつか、イヤイヤは終わるよね」とのんびり構えることを心がけてみると、意外に早く通り過ぎるようです。子どもの一生懸命イヤイヤと言っている姿もかわいい!と楽しんでいただけたらなによりです。

暮れにさしかかり、お疲れも出る頃と思いますが、お身体に気をつけて良いお年をお迎えください。

主任

成道会 12月11日(木)

インドのシッダルタ王子（後のお釈迦様）が長い修行の末、お悟りを開かれた日が12月8日です。この日は、成道会の式を行い、「良い子になりますように」とみ仏様に手を合わせます。健やかに、そして、『感謝と思いやり』の心を持ち、『何事にもやる気のある子ども』に育てられることを念じています。

大晦日
12月31日



「みそか」とは30日のことで、一年の最後の日を「おおみそか」と言います。大晦日の夜、除夜の鐘が108回鳴ります。これは、人間の煩惱が108つあるという仏教の教えからきたもので、それを取り去って新年を迎えるわけです。107回を年内に、最後の一つを新年につきます。

子育て応援メッセージ

まずは、
お母さんの育児の悩みに
耳を傾けることから

今からでもできる
お父さんの子育て



“母親の話に耳を傾ける” “労をねぎらう”
“病院や手軽な公園など子育てに役立つ情報を集める” など、できることから始めてみませんか?

「この子はこの子でいいんだ
私は私でいいんだ」 明橋大二著 より